

特集 令和7年度施政方針



赤名公民館「みんなで絵を描こう」

2025
5

まちのスケジュール

📖教育 + 健康・保健 🌟文化・体育 💠その他

1 木

2 金

3 土 憲法記念日

4 日 みどりの日

5 月 こどもの日

6 火 振替休日

7 水 + ほっと。Café(来島保健センター)

8 木

9 金

10 土 💠 地元の山ハイキング!(衣掛山 武名ヶ平山)
📖 頓原中授業公開日・PTA総会

11 日 💠 ぼたんまつり(赤名観光ぼたん園周辺)

12 月

13 火

14 水 + ほっと。Café(来島保健センター)
+ オレンジカフェ(交流センターとんぼら)

15 木 📖 小学校陸上大会
+ 1歳6か月児・3歳児健診(保健福祉センター)

16 金

17 土 📖 赤来中授業公開日・PTA総会

18 日 💠 英語でおはなし会(中央図書館)
💠 しまね家庭の日

19 月

20 火 + オレンジカフェ(赤名福島邸)

21 水 📖 小学校修学旅行(～22日)
+ ほっと。Café【食講座】(来島保健センター)

22 木

23 金

24 土

25 日

26 月

27 火

28 水 + ほっと。Café(来島保健センター)

29 木

30 金 💠 はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制
🌟 ハイブリッドウインドオーケストラコンサート(来島交流センター)
+ オレンジカフェ(つがが工房)

31 土 📖 人権学習+α(谷笑楽校)

町の人口 4,251人(前月比－61人) 世帯数1,939戸 R7.4.1 現在



公私とも忙しい日々を送っている加藤さんのストレス解消はゴルフ。週末に時間を作って打ちっ放しに行くのだそう。「野球の球は打てるのに、なんで止まっている球が上手く打てないのか分かりません。逆にストレスになりそうです」と笑っていました

工事現場での確に指示を出す加藤康平さん(26歳)。建築会社に勤務し、現場監督などの仕事をしています。大学での就職活動が始める際、特に就きたい仕事なかったという加藤さん。今の会社に決めたのは数多くの会社の説明を聞く中で、少しでも興味がある会社があったという加藤さん。

「ルーツ
いいなん
45

このまちに住んでいようと、なろうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介し、今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよどこまでも。

両親のように家族のために



かとう こうへい
加藤 康平

広島県出身。広島県内の中学から祖父に誘われ飯南高に入学。卒業後、姫路獨協(どっきょう)大に進学し、野球を続ける。卒業後、兵庫県内の建設会社に就職し現場監督などに従事(大阪在住)

わいたからだそう。「もともと就きたいわけでもなかったで、最初は苦労しました。精神的にも体力的にも大変な仕事です」と話します。それでも、4年間働く中で少しずつ成長しているという加藤さんには、仕事をやる上で大切にしていることがあるそう。「どんな立場の人でも意見を聞いて、そこから自分に活かせることを取捨選択して、すぐに実行します」と話します。考えて行動し、経験を積むことを意識して仕事に励んでいます。

「仕事に本気になれたのは、娘が生まれたからです」と話す加藤さん。「これからは自分より家族のために」と覚悟が生まれたと言います。「祖父母もですが、特に両親が大きな存在です。私を支えてくれた自慢の両親なので、自分も子どもにとって自慢の父親になるのが今の目標です」と笑顔で話します。



赤名公民館主催の連続企画「みんなで絵を描こう」では、子どもたちが12月よりコンパネ板8枚にわたり「はやしこ」の様子を描いています。講師は大歳正則さん(写真右・上赤名)。仕事の傍ら、長年創作活動を続けています。



飯南町公式SNS

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか

マチイロ